

仏婦が草取り

6月24日 淡路組住職寺族同朋講座が円徳寺で。教区派遣講師は西池哲俊師。25日 揖尾西組同朋講座を記念寺。派遣講師は山崎一朗師。播磨中組同朋講座を善称寺。派遣講師は西池師。仏婦ブロック別研修会。神戸別院(神戸ブロック)講師森重一成師(安芸教区)参加三百三人。26、27日 第三ブロック布教使研修会を和歌山教区担当で白浜で開催。テーマは「真宗の利

益について」教区より八人参加。29日 仏婦研修。水西組照徳寺(丹波ブロック)講師野瀬善隆師(滋賀教区)参加二百二十七人。30日 仏婦研修。出石組福成寺(但馬ブロック)講師都呂須孝文師(連研中央講師)参加二百五十六人。7月1日 常任企画会議。兵庫教区御同朋総結集大会の基本規定案等について協議。土曜講座。別院職員が順番で毎土曜の一時半より法話。新宮組同朋講座を心光寺で。派遣講師は和田智浄師。2日 中部・近畿仏教連絡協議会を岐阜別院。教

区より中尾理事長、吉本副理事出席。3日 常備会。教区会の議案について。揖尾東組同朋講座を浄蓮寺で。派遣講師西脇修師。4日 仏婦研修。姫路西組本徳寺(西播ブロック)講師野瀬善隆師参加八百二十人。少年サマースクールスタッフ会議を別院で。5日 仏婦研修。本徳寺(東播・姫路)講師は都呂須孝文師、参加六百七十四人。北摂組同朋講座を光沢寺で。講師和田智浄師。6日 結集大会準備委員会。7日 兵庫教区臨時教区会。上程議案の財務議案に先だつて門徒宗会

教区だより 8月

- 7月31日(月)~8月2日(水) サマースクール 日生頭島(民宿よしの屋) 岡山南組西念寺
8月1日(火) モダン寺暁天講座 一朋に生きる一 小滝了信輪番 朝7時
2日(水) 暁天講座 一願いの中に 谷川弘顕師(神戸湊組高松寺)朝7時
3日(木) 暁天講座 一お念仏申す一 久堀弘義師(神戸湊組行願寺)朝7時
6日(日) 仏壮ブロック 高崎長英師(北摂組正光寺) 出石組福成寺 10時半
11日(金)~15日(火) 神戸別院盆参り
16日(水)~19日(土) 教務所・別院盆休み
19日(土)~20日(日) 89全国真宗青年の集い東海大会
27日(日) 若婦人の集い 姫路西組本徳寺
29日(火) 総代ブロック研修(阪神・神戸) 神戸別院
9月1日(金) 総代ブロック研修(岡山) 岡山北組妙願寺
5日(火) 総代ブロック研修(姫路・西播) 姫路西組本徳寺
9日(土) 総代ブロック(東播)
12日(火)~13日(水) 青年僧侶の会一泊研修会 北陸真宗各派と吉崎御坊を訪ねて
18日(月) 千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要 国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑 1時半

議員選挙がおこなわれ今期も引き続き堀野氏(姫路東組浄福寺門徒)が選出された。別院仏婦常例。講師は寺田寛了師(揖尾西組浄教寺)ユーモアのある比喩にお同行もニコリ、常例が始まるまで仏婦会員の草取り奉仕もあつた。8日 仏壮ブロック別研修会(東播)を高砂組明覚寺で。講師は藤栄行信師(淡路組宣徳寺)参加百十人。スカウトクラブ総会研修会。9日 仏壮研修会。岡山南組西方寺で講師は驚尾衛鳳師(神戸西組宝珠寺)参加百三十人。10日 青年僧侶の会研修会を別院で。縁起と業と題しての三回目の武内紹晃勸学の講演。11日 仏婦研修。岡山南組西念寺(岡山)雪山隆弘師(運動本部専門委員)参加百八十八人。12日 仏婦研修。阪神西組西福寺(阪神)講師雪山隆弘師、参加二百人。13日 第三ブロック青年布教使研修会を東大阪市のホテルセイリユウで開催。教区より六人の若手布教使が参加。13日 社会福祉推進協議会兵庫支部総会並びに公開講演会。午後一時半から「いのちの尊厳と社会福祉」のテーマで小田義彦氏(京都女子大学教授)の講演、参加は四十六人。14

16日 別院常例法座。講師太田唯念師(播磨中組西念寺)如来様のほうから、この私を浄土へ参らすためにはたらいおつて下さるとは有り難い」とお同行。16日 揖尾西組同朋講座を養父の浄教寺で。派遣講師は杉本昭典師。17日 矯正教化連盟兵庫支部総会を別院で。総会終了後、会場を神戸市北区ひよどり北町の拘留所に移動して研修会。谷山國正拘留所長に講演を頂く。奈良教区仏教婦人会が別院へ団参。バス七台で三百四十人以上の方々が参拝され本堂の階上の席まで一杯となった。教区を代表して加藤仏婦委員長長の歓迎の挨拶もあつた。18日 第二期寺族婦人連続学習企画打ち合わせ会議。今年度は参加者が四十九人ととなった学習会の進め方等について都市開教推進部会。拠点開教、文書伝道、アンケータ調査など。19、21日 教区仏婦連盟委員研修旅行。四十三人の参加で親鸞聖人の御跡を慕いて関東二十四輩を参拝。20日 姫路東組同朋講座を教福寺で。派遣講師は藤栄行信師。

生前のご苦労を偲び 謹んで慶弔の意を表します。(敬称略) 阪神北組称名寺前坊守 浅井 英 7月14日 「妙香院釈尼英順」 91才

二か寺を解散

神戸中組真光寺 平成元年三月三十日付解散 養父組明照寺 平成元年五月三十一日付解散

教区会議員に二氏

多紀組・朝来組門徒教区会議員は任期中に死亡されたその補欠選挙を施行 多紀組光明寺門徒 野村光雄氏 朝来組如来寺門徒 尾崎哲夫氏 二名が就任されました。

「法」を追加印刷

七月号に折り込まれたお盆号「法」のみのりが、姫路、加古川市、氷上郡、朝来郡などの八か寺から注文を受けました。予定枚数をはるかに超えて、追加印刷したほどです。ありがたいことで、真実の法の広がることを念願しております。(事務局)

御同朋総結集大会へ始動

会長 大内氏 準備委役員を選出

来年の平成二年十一月七日に開く兵庫教区御同朋総結集大会へ衆知を集めよう。初めての準備委員会が去る七月六日別院本堂で開催された。

教区基推委々員、教区教化団体長、組基推委、学識経験者の方々九十九人に案内し、当日は五十四人の参加となった。大会に向けての教区の願

い、組や各寺院のめざすものなどを小滝教務所長が述べた後、協議事項としてはその進め方、予算、規約等をはじめ大会までに委員会が何をなすべきか、大会を通じてどのような効果を求めるのかなど活発な意見交換があつた。

続けてつぎの役員(会長・副会長・常任)十七人が選出された。(敬称略)

◇会長、大内憲英(網干組浄念寺) ◇副会長、佐々木智見(北摂組安楽寺) 山崎一朗(出石組正福寺) 田寺健三(総代会々長) ◇常任委員、山本宣昭(淡路組萬行寺) 楠万千雄(赤穂南組妙道寺) 松島法城(多紀組専福寺) 木下義昭(揖尾西組一行寺) 西池哲俊(出石組勝林寺) 前田徳水(朝来組光明寺) 藤栄行信(淡路組宣徳寺) 増井浄見(赤穂北組浄蓮寺) 西脇修(揖尾西組超念寺) 近藤龍樹(青僧会々長) 加藤通子(仏婦連盟委員長) 中尾勝(仏壮連盟理事長) 中西正一(推進協議会々長)。

HO 教区新報

1989. 8. 25号

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所 〒650 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号 (本願寺神戸別院内) 電話 神戸(078)341-5949(代) [編集] 教区基推委広報部



活発な発言の準備委員会

第四條 教区における御同朋総結集大会は、組を単位として結集されるのを例とし、それぞれの組における一組一重点行事を計画実施する。 第六條 教区に「大会準備委員会」を設置する。期間は平成元年四月から二年三月三十一日まで。委員は

教区基推委員、教区教化団体長及び組基推委(または組長)及び学識経験のある者の内から教務所長が委嘱する。委員会に常任委員会を設け、委員会の委任した事項を処理することができる。 第七條 教区に「大会実行委員会」を設置する。期間は平成二年四月一日から三年三月三十一日までとする。なお準備委員会のおもな発言は次の通り。 △組基推委は三十八組の内二十六組が結成されているが、はたしてその中で同朋運動が積極的に取り上げられて来たか、形だけに終わっていないか。 △口では宗祖の教え、聖人の平等観と言うものの、現に教区内で差別の問題が提起されている。私達が今までの組を通して求めて来たものは何だったのか。 △運動とは私達の限り無き歩みであり動きである。寺が願うもの、組が願うものは組の活性化以外にはない。▽教区内にはたくさん連研終了者がいるはずであるが、寺と関わってくれていないし、受け入れる場が寺院にはたしてあるか。寺の機能化と活性化を早急にはかることが必要。



死について、かれこれ心配したとて何になるのか。この意見が現代

一期四か年宗会議員として宗会に出させていただき、教団内外の事をいろいろと教えられ、聞かされて参りました。

多くの方々は二十世紀に向かつて教団は如何にあるべきか？また「念仏の声を世界に子や孫に」「御同朋の社会をめざして」と声を大にして申されています。私どもにとつて、一番大切なことは、夢を持ち希望を持つて進まねばなりません。が、今現在私たち一人一人が命の尊さを知らされ、お念仏の中に一日一日を大切に、宗祖の「世の中あんななれ、仏法ひろまれかし」のお言葉にこたえているかどうか、内観させていただかなければならないと思います。



九折 舜寿

々に教学(業問題)を正しく説いているでしょうか。教団は現在いろいろな問題をかかえていますと同時に私自身にもいろいろな問題を持っています。このたび二期目をつとめさせていただくことになりました。皆様とともに親鸞聖人のみ教えに学び、基幹運動の推進、教学、財政、人材の育成等の諸問題を一つ一つ努力して参りたく思っています。

略歴  
昭和十七年龍谷大専門部卒、二十五年正専寺任職、六十年宗会議員一期当選。現在、保護司・人権擁護委員・社会福祉法人すみれ保育園々長

## 基幹運動を推進

## 6つの課題整備

平成十年にお迎えする運如上人五百回遠忌の頃には昭和初年生れの方が七十歳を越え、宗門の伝統的薫育を受けた世代が殆んど姿を消します。この時にこの御法要が立派に勤修できたら宗門の将来は洋々でしょう。従つて、この時期までに、しかも成るだけ早く、宗門は特に左記の諸課題の整備に全力を傾注せねばならず、そのため小生も引続き宗政の場において微力を捧げたいと存じます。

- ① 教学の現代的展開、特にその平明化
- ② 宗教儀礼の重要性の見直しと勤式の改革
- ③ 人材の育成と発掘・登用
- ④ 地域に応じた伝道態勢の確立
- ⑤ 宗門の行・財政の機能化と安定化
- ⑥ 本山の接遇改善による参詣者の倍増



豊原 大成

昭和四一年より六〇年まで教区教推協副会長。六〇年より宗会議員一期。神戸一中、三高、京大、同修士課程(仏教学)、インド・ベナレス・ヒンズー大学博士課程修了。四天王寺国際仏教大学・元教授。

### 阪神西組がス テッカー作成

阪神西組(錦織美範組長・21カ寺)では、訪問販売や宗教勧誘に対する苦情が門信徒から頻繁に出ていることから、このほどステッカー1万枚を作成、各家の戸口に取っつけてもらうこと、配布することにした。



# 宗会四議員「私の抱負」

宗会解散にともなう宗会議員の総選挙は、七月二日に僧侶、七日に門徒がそれぞれ実施され、七十六人の新宗会議員が決まった。

兵庫教区では僧侶議員は無投票で、九折舜寿、豊原大成、寺田義淳の三前議員が再選され、門徒議員は堀静

このたび、宗会議員総選挙にあたっては、絶大なご支援をいただき、当選の栄に浴しましたことに対し、厚く感謝申し上げます。ここに私の信条の一端を披瀝いたす次第であります。

私は、すでにご承知のごとく、兵庫教区選出議員として一貫して宗会に席を置き、宗会議長等も歴任をして、常に教区の有権者、教区寺院の声を宗政の上に反映することをもち、基本信条といたしておりました。宗門は、御同朋、御同行の教団であり、和合の僧伽であり、いたずらに対立抗争し、反目しあうということは極力避け、常に宗門意思の一体化のために微力を捧げてきたものであります。

宗門では、

- 一、浄土真宗教学の振興、流動化する世相、世代交替、女性の進出のほか、今までにない日本の高度経済成長下にあつて、ややもすると「拝金主義」に陥り、物中心の思想に走りがちである



寺田 義淳

## 記念事業を完遂

## 全教区をリード

ことを愛い、このためには、二十一世紀こそ「心の時代」となるような浄土真宗のみ教えの展開こそが、これからの使命であると思ひます。

- 一、基幹運動の活性化
- 一、顕如宗王四百回忌法要
- 一、本願寺寺基京都移転四百年記念法要
- 一、殉難者総追悼法要

等の記念事業を完遂することが現下の緊急事であると存じます。

堀 静男



男氏が五期目を統投されることとなった。本願寺「四百年」法要を二年後に控え、宗門の新時代をひらく重要な時期にあたることから、四議員にそれぞれ「私の抱負」を書いていただいた。教区の選良としての活躍に期待が寄せられている。

(届け出順)

一、宗門人の願望は宗門の発展繁栄と、御法義の繁昌にあり、為政者は場当たりでなく、中長期を展望しての施策を立案し、門下に目標を明示して力強く宗門を指導すべきである。

いい、聞くべきことは聞き、門信徒の願いを大きく強く本山に伝え、全国教区のリーダー役を果たすべき時である。

- 一、富士産業、富士興産、富士観光、取締役社長
- 一、姫路東組浄福寺門徒総代、宗会議員(昭和五十二年より四期)、本願寺参与会副会長、宗会副議長

### 「浄土真宗の未来を探る」出版

青年僧侶の会



昨年六月二十一日、青年僧侶の会十周年記念シンポジウム「21世紀に向かつての浄土真宗とは」が開催された。現場なき教学といわれる今日、パネラーに民族宗教性をも含めた真宗を認識すべきとする大村英昭師と、習俗を真向から否定する信楽峻磨師を迎え、宗門人の歩むべき道を探つて、二十一世紀に向かつての浄土真宗のあるべき姿について、久堀弘義師をホスト役に論議がかわされた。本書は対論をまとめた宗門の危機的状況の再認識を迫る書である。(同朋舎発行)